こんにちは! 事務局です

❖ 理事会報告

第６回/平成28年11月19日（土）

Ⅰ 決議事項
1.新型インフルエンザ等対策業務計画（案）について

Ⅱ 報告事項
1.日本看護協会理事会報告（平成28年９月開催分）
2.日本看護協会地区別法人会について
3.滋賀県看護協会主要事業進捗状況重点事業報告
4.中間監査の結果について

Ⅲ 協議事項
1.職能委員会、地区支部活動中間報告
2.常任委員会中間報告
3.平成29年度重点目標及び事業について
4.理事会・委員会合同委員会開催日の変更について
5.日本看護協会災害派遣訓練について

Ⅳ その他
1.職員の異動等について
2.平成29年度滋賀県予算編成に伴う要望について
3.会議等報告事項

第７回/平成28年12月17日（土）

Ⅰ 決議事項
1.滋賀県看護協会定款細則の一部改正について

Ⅱ 協議事項
1.平成29年度重点事業（案）について
2.理事会・常任委員会委員長合同会議（案）について
3.平成29年度教育計画（案）について
4.第２回トップセミナー（看護管理者研修）（案）について

Ⅲ 報告事項
1.日本看護協会理事会報告
2.会議等の報告

Ⅳ その他
1.部落解放研究
第24回滋賀研修会の動員について
平成29年２月10日（金）

❖ 選挙管理委員会からのお知らせ

《公益社団法人滋賀県看護協会役員・委員等の立候補者の受付について》

選挙管理委員長　西村 寿加代

平成29年６月17日（土）滋賀県民交流センター（ピアザ淡海）にて開催予定の滋賀県看護協会通常総会において、滋賀県看護協会役員および推薦委員ならびに平成30年度日本看護協会通常総会に出席する代議員および予備代議員の選出を行なうことに伴い、下記の要領で立候補を受付けます。

なお、役員等は本会の会員であり、本会の目的を理解し組織強化、発展のために定められた会議に出席し、積極的に責務を遂行することが求められます。

1.立候補の方法
立候補される方は正会員５名以上の推薦を受けて、届け出用紙に必要事項を記入のうえ、看護協会事務局へ提出してください。届け出用紙は事務局にあります。（ホームページからもダウンロードできます。「滋賀県看護協会」⇒「看護職の方へ」⇒「役員・委員等の立候補者の受付」）

2.立候補の受付期間
平成29年２月３日～平成29年２月17日　必着

3.立候補届の送付先
〒525-0032 草津市大路二丁目11番51号
公益社団法人滋賀県看護協会事務局 選挙管理委員会 宛て

4.平成29年度選挙する役員および改選数
副会長２名（看護師１名・助産師１名）／ 常務理事２名
看護師職能I理事１名 ／ 助産師職能理事１名 ／ 第２地区理事１名
第４地区理事１名 ／ 第６地区理事１名 ／ 監事（看護職）１名 ／ 推薦委員７名
平成30年度日本看護協会総会代議員８名 ／ 予備代議員８名

図書室をご活用ください!

看護協会では図書室に関する検討会を開催し、図書室の整備に努めています。今年度は特に、蔵書の見直しを行っており、看護管理系の新書を揃えています。ホームページからも蔵書の検索ができますので、ご活用下さい。（ホームページの上部メニュー「看護職の方へ」に入り、「ガリレオの図書室」バナーをクリック!）また、図書室のパソコンから医学中央雑誌（医中誌）の検索も可能です。

開館時間は平日の9:00～17:00です。図書室利用方法の詳細はホームページをご覧ください。（「看護職の方へ」⇒「図書室の利用について」）

図書室の蔵書検索　ガリレオの図書室　click!

会員の声

▶以前に、新人研修の報告をみて、自分もこの研修に参加したことを思い出しました。（A.E）

▶日本看護学会の記事を読んで、看護教育の重要性を再確認しました。（S.K）

▶Voice「患者・家族の安心と希望」は私達を看護の原点に立ち返らせてくれる言葉でした。（A.S）

▶日本看護学会が滋賀・大津で盛大に行われ全国から多くの方々が参加された様子が伝わってきました。（N.M）

編集後記

早いもので新しい年を迎えました。昨年は熊本地震に関する記事や滋賀県での学会開催についての記事を通し、たくさんの事を学び考えることができました。

今年も広報委員みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。2017年も皆様にとって実り多き一年になるよう願っています。（坂口）

投稿大募集!!

「一番星見つけた！（輝いている人）」「表紙の写真」「会員の声」に投稿していただいた方の中から、３名の方に、クッションをプレゼントします。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック！（次回発刊は４月上旬予定です。）

プレゼント!

当選者発表

2017年度版 日本看護協会会員手帳プレゼント当選者発表！
投稿していただいた方の中から、５名の方に決定しました。東近江市A.Eさん、甲賀市S.Kさん、日野町A.Sさん、大津市N.Mさん、高島市D.Eさんです。おめでとうございます。

EDEL（エーデル）
2016-17 collection

デオホワイル加工羽毛を採用した
ゴア®羽毛ふとんで
さらに清潔で安心の眠りを。

TUK 東洋羽毛東海販売株式会社
三重営業所 フリーコール 0120-585104
〒514-0003　三重県津市桜橋 3-67-13
～ お気軽にお問い合わせください ～

広報紙「ナースレーク」

Nurse Lake

Vol.133
2017年1月

公益社団法人 滋賀県看護協会

羽毛クッション プレゼント!

CONTENTS

新年のあいさつ ……2
Voice ～これからの看護職に期待すること～ ……2
一番星見つけた!
～こころとからだをリフレッシュ 癒しのアロマセラピー～ ‥3
地区支部だより ～７地区活動報告～ ……4～5
WLB推進ワークショップ開催 ……6～7
保健師職能委員会活動報告／研修報告 ……8
訪問看護支援センターだより／医療安全通信 ……9
ナースセンターだより／はたさぽ通信 ……10～11
こんにちは! 事務局です／会員の声／編集後記 ……12
プレゼントのお知らせ ……12

表紙風景写真：高島市白鬚神社にて（撮影：D.Eさん）

発　行　所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 廣原惠子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468　FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/
モバイルサイト
滋賀県看護協会　検索

滋賀県看護協会会員数（平成28年12月４日現在）

保健師/	324人	助 産 師/	249人	合計 8,063人
看護師/	7,259人	准看護師/	231人	

新年を迎えて

干支に思う ―積極的に飛躍する年に―

滋賀県看護協会 会長
廣原 恵子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には新たな気持ちで2017年を迎えられ、更に幸せな充実した良い年になるよう願い事や目標を立てられた方も多いのでないかと思います。

私たち看護職は、正月も盆も24時間体制で人のいのちに向き合う仕事です。この年末年始の間も勤務され、患者さんや利用者さんと共に行く年来る年を迎えられた会員の皆様のご苦労に感謝申し上げます。

さて、今年の干支（えと）は、酉年。酉年の「にわとり」は、明け方に鳴く鳥で、昔から縁起が良く、「とりは、とりこむ」ことで、商売関係には、特に縁起の良い干支とされています。又、酉の干支には、積極的で行動力があるという意味もあるそうです。

酉年にちなみ、滋賀県看護協会も「とりの目」「ありの目」「さかなの目」の３つの視点を大切にしていきたいと思います。

常に私たち看護職の対象者の視点を忘れず、社会や時代の流れをしっかり読みとり、個々や組織、地域で成果が出せるように多くの会員の皆様の意見や提案をとり込み、飛躍し充実していく年にしていきたいと思います。

母なる琵琶湖の慈しみを受け、人と自然が共生する湖国滋賀で生活できることに感謝し、滋賀県看護協会として「地域とのつながりを大切に、ぬくもりのある看護が届けられるよう」会員一丸となって前進していきましょう。

私達の日々の看護実践で、会員の皆様はもちろん、住民、患者さんや利用者さん、同僚の笑顔が増え、多くの幸せがとり込める年にしていきましょう!!

私は、様々な出会いを大切に「一期一会」で前進したいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いします。

Voice ―― これからの看護職に期待すること

看護スタッフの温かい言葉かけと励ましのなかでの「29年」

滋賀県腎臓病患者福祉協会
会長 青木 隆三 様

「透析は、一日一日の積み重ねが大切よ。塩分、水分には気をつけて、しっかりと社会の一員として活動していってね!」29年前に、看護師長様から「教えを受けた言葉」が、今となっては私の心の支えとなっています。

私自身、透析生活「29年」となりましたが、二日に一度、５時間の人工透析の積み重ねのなかで、「命」をいただいております。なかでも、接していただく看護スタッフの皆様からの心温まる言葉かけや励ましを受けて、生き続けることができています。８年前には敗血症を患い、生死の間をさまよいましたが、懸命な医療、看護のなかで「命」をつなぐことができました。看護スタッフの皆様には、本当に、透析患者一人一人の「命」に寄り添った対応をしていただき、ただただ頭の下がる思いで、心から感謝申し上げます。

新薬の開発・ダイアライザーの進歩と共に、政府・国会における「医療費公費負担」「障害者年金」「内部障害者の身体障害者手帳の交付」等によって、人工透析患者が助けられてきた面も多々あります。

還暦・透析生活25年を経て、大津の滋賀県腎臓病患者福祉協会（以下滋賀県腎協）づとめ５年目となりました。

滋賀県腎協は1970年に設立、46年目を迎えています。滋賀県下3100人の人工透析患者の「ひとり」「ひとり」の「命」の大切さを感じながら、また先人たちが積み上げてきた滋賀県腎協の重さも感じながら、「誰もが、どこでも、安心して、透析医療が受けられる」ように、滋賀県腎協に貢献・尽力していきます。

今後とも、私たち人工透析患者に温かい言葉かけと励ましをいただけますように、看護師の方々、よろしくお願い申し上げます。本当に、毎日の看護師活動に「感謝」「感謝」です。ありがとうございます。

一番星☆見つけた!

“こころ”と“からだ”をリフレッシュ

癒しのアロマセラピー

施行中

一般財団法人 近江愛隣園 今津病院では、平成27年７月より「アロマセラピーあいりん」を開設し、専門の教育を受けたアロマセラピストが個々の状態にあった精油・アロママッサージを行っています。セラピストさんにお話を聞きました。

アロマ・セラピスト
坂下百合子 さん

アロマセラピーを始めようとしたきっかけは?

高齢者の介護を必要とする方が多く、スキントラブルや排泄の匂いなど気になることも多く、アロマセラピーが役に立てたらと思いました。

どのような方が利用されていますか?

当院で手術をされた患者さんや患者さんの家族、あとは職員が多いです。

アロマを終えて

今津病院でアロマセラピーをなぜ取り入れようと思ったのですか?

以前、緩和ケア病棟に勤務していた時にアロマと出会い、様々な効果があると実感した。いろんな病院でも取り入れることができると思いました。

設置されたアロマ

利用者さんの反応は?

特に手術前後に使用することで、リラックスや鎮痛にも役立つと言われています。また、担当看護師からも良い影響があったという声を聞いています。

患者さんやクライアントに「気持ち良かった」など言われた時です。

アロマセラピーに出会い、いままでうれしかった事は?

これからアロマセラピーを勉強して取り入れようとしている方へ

自分が楽しんで興味を持って勉強することが大切です。少しでも興味があれば小さいことから取り掛かってください。

ナースレークを読んでいる方に一言

日々看護ケアを行うなかでひとつのツールとしてアロマセラピーを考えて頂けたらと思っています。“こころ”と“からだ”をリフレッシュさせ、治療の相乗効果が期待できます。

アロマセラピー治療の流れ

面談をして、体の不調や希望などを聞き、状態に合わせ香りを選別する ▶ コースの選択 ▶ アロマセラピー開始 ▶ 終了 ▶ ハーブティーを飲みながら、感想や今後のアセスメント・評価

＊＊

今津病院では、セラピストを中心に看護ケアの一環として、入院中の患者さんにアロマオイルを使用したケアを行っているとのことです。寝たきりの患者さんや脊柱側弯症術後の患者さんなどに、全身清拭や入浴時、陰部洗浄などにアロマオイルを使用してケアを行なっているとのことでした。また、認知症で夜間不眠になっている時や手術前の緊張緩和にも有効であると教えてくださいました。病院入口やエレベーター付近にはアロマの加湿器が置いてあり、癒しの空間を作られていました。（広報委員 坂本・土井）

地区支部だより

～7地区活動報告～

第１地区

第１地区支部は、会員数は2460人（2016年９月現在）であり、滋賀県全体の1/3以上を占めております。医療機関は25機関（13病院、12診療所）あり、高度急性期・急性期機能病床が多く、在宅に帰れない患者の受入れが困難になる可能性がさらに加速することが予測されます。そこで、『ときどき入院、ほぼ在宅』を目指し、各看護職員が“看護師の役割”を認識し、施設の活動につなげられればと考えております。

９月24日は、３施設より患者の退院支援を行った事例発表および訪問看護認定看護師の和田幸子氏にテーマ『入院患者を支える看護師の役割』で講演いただきました。各施設の退院支援の取り組みや訪問看護師の役割について学ぶことができました。

地域交流では、10月16日に浜大津明日都で『おおつ健康フェスティバル』に参加しました。消防署や施設の救急看護認定看護師の協力を得て、市民の皆様に、救急蘇生法やAED作動も実際に体験して頂きました（写真）。また、11月には、スペシャリスト出前講座も行いました。

第１地区支部では、以上のような活動を行っております。

（支部長／小寺利美）

おおつ健康フェスティバルで消防署と看護協会第１地区支部が開催した救急蘇生法およびAED作動を一般市民が実際に体験した風景です。

第２地区

こんにちは。草津市、守山市、栗東市、野洲市の会員で構成されている第２地区支部です。平成28年度は役員２名が交代し、研修会や地域活動を実施してきました。この中で印象に残った地域活動への参加について紹介します。

平成28年10月29日（土）。木枯らし１号の吹く、やや肌寒い中『玉川・萩まつり』に参加してきました。草津市内の小学校の秋祭りにて血圧測定、骨密度測定、体脂肪測定、手洗い実演やパンフレットの配布、健康相談を行いました。幼児から高齢者、外国人の方まで幅広い住民の方々と触れ合え、楽しいひとときでした。なかでも手洗い実演は家族連れや子ども達と共に看護の持つ魅力を共感できる場面であったと思います。今後も地域に少しでも還元できる活動を行っていきたいと思います。

（広報担当／清水数司）

第３地区

「認知症疾患の基礎知識とその対応について」研修会

今年度前半の活動は、看護実践能力を高めるための研修会と地域住民の方が生活習慣病や健康維持に関心をもって頂くための啓発活動を行いました。

「認知症疾患の基礎知識とその対応について」研修会では、臨床現場で看護師が抱える問題について、疾患の理解と人として思いやりをもって想像力と創造力で接していくことの大切さを学びました。また、「難病患者の切れ目のない療養支援～寄り添うケアと意思決定への支援～」研修会では、患者会や医療関係・福祉関係者などが集まり、徐々に進行していく難病患者さんの揺れ動く気持ちにどのように寄り添い支援していくかについて深く考える研修となりました。

「まちの保健室」は、地域住民80人の参加があり、血管年齢測定などに関心が集まりました。

後半も他団体と共催で「病院から介護まで地域のチームとして行う緩和ケア研修」や看護研究発表会などを予定しています。

このような機会を通して、いろいろな立場の関係者が意見交換できる場を持ち、看看連携・多職種連携しながら活動を行いたいと思います。

（支部長／井原憲子）

第４地区

７月２日（土）NPO法人ささえあい医療人権センターCOMLより講師をお招きし、「医療者とのコミュニケーション」の研修会を開催しました。患者・家族に対しての細やかな配慮とコミュニケーションの大切さを改めて感じることができました。また、スタッフ指導にも生かせる内容で、大変貴重な研修会となりました。

今後の活動としては、町の保健室として東近江健康フェアへの参加を予定しています。また、看護師職能Ⅰ・Ⅱの交流会として今年度で３年目となりますが、病院領域で働く看護師と介護・福祉・在宅領域で働く看護師が、事例を通して、お互いの役割・活動・連携・課題を話し合うことを目的に開催します。

研修会の風景

今後、ますます高齢化が進む中で看護師間または他職種と連携し、顔の見える関係づくりを目指し活動していきたいと考えています。（支部長／中嶋登美子）

第５地区

第５地区支部では、10月10日（月）に開催されました「彦根市元気フェスタ2016」において、彦根市民体育センター内にブースをお借りして「まちの保健師さん」を出展させていただきました。

フェスタに訪れた地域の皆さまに対して、今年度のテーマである「生活習慣病の予防」について考えを深めてもらう機会となるよう、①血圧測定　②血糖測定　③ストレスチェック　④おみそ汁の試飲　⑤保健指導を行いました。

午前中のみ出展でしたが、好天に恵まれたこともあり、100名近くの方々に参加していただくことができ、地域の方々と触れ合う中で、子どもから高齢者にいたる幅広い年齢層の方々が、自らの健康に対する意識を持たれていることを感じることができました。

（広報担当／藤森暢彦）

メイン会場でグラウンドゴルフや太極拳講座などを体験した後に健康チェックに訪れて下さる方も大勢いらっしゃいました。

第６地区

今年度、第６地区支部では３つの大きな行事を行いました。

５月22日（日）に長浜バイオ大学で行われた「健康フェスティバル」に「まちの保健室」のブースを設置しました。ブラックライトを使った手洗いチェックと看護協会のPRとして、プロジェクターで看護師の仕事の様子を放映しました。330人の方に参加いただき、手洗いの大切さを学んでいただけました。

６月25日（土）には、勤労者福祉会館「臨湖」で第６地区支部集会を開催しました。69名の会員の参加のもと、滋賀県看護協会 廣原会長の講演と市立長浜病院認定看護師の宮崎さんによるハンドマッサージ体験を行いました。

会長からは、地域包括ケアへの理解と参加が求められていくことや、看護協会のめざす方向についてお話いただきました。ハンドマッサージでは、２人が１組になり体験することで、会員同士の交流が深まりました。

５月から２か月に１回、湖北圏域看護職連携会議に参加し、病院と地域との連携のあり方や、必要なツールは何かなどを検討しています。会議後には事例検討会も開催し、多職種と様々な意見交換を行い、支援者同士が顔と顔を合わせるよい機会となっています。

（支部長／烏脇富子）

「健康フェスティバル」に「まちの保健室」のブースを設置し、手洗いチェックをしました。

第７地区

活動内容は６月にアロマの効果を知り、患者さんや自分たちも癒される入浴剤やミスト作りの研修会を行いました。10月には地域包括ケア病棟の紹介と病棟の役割の理解が深まる事例検討会と、11月に老人保健施設の紹介と介護福祉士により「奪わない介護」として身体拘束予防の事例検討会を行いました。毎回多職種も含み70名を超える参加があり、互いの理解を通して、地域包括ケアシステムでの看護職の重要な役割の自覚につながっています。

12月には、まちの保健室を「血管」をテーマに住民の方の動脈硬化予防への取り組みを行いました。３月には看護研究発表会を予定しています。

小規模な支部ですが、毎回多数の参加や協力があり充実した活動になっています。この活動力を今後も地域の貢献につなげていきます。

（支部長／武内美英子）

【平成28年度】

看護職のワークライフバランス推進ワークショップを開催

●開催日：平成28年10月18日（火）・19日（水）　●会場：滋賀県看護研修センター
●ワークショップ参加者数：２日間延べ102人（参加６施設）

安全で質の高い看護サービスを提供するためには、看護職の心身の健康保持増進が必要不可欠です。
滋賀県看護協会では、働き続けられる職場づくりを目指してワークライフバランス推進ワークショップを開催し、５年目を迎えました。今年度は６施設が以下の日程で自施設のWLB推進に向けて取り組まれました。

公開講座

「働き続けられる職場環境つくり看護管理者が元気になる!」
看護と人事の協働で実現するWLB
竹中 君夫 先生［社会医療法人 明和会医療福祉センター 法人本部 人事主幹］

「病院看護職の賃金のあり方」
勝又 浜子 先生［日本看護協会 常任理事］

竹中 君夫 先生

勝又 浜子 先生

●取り組み施設へのアンケート内容（抜粋）

3年目

近江八幡市立総合医療センター

Q 組織全体で取り組むためにどのような工夫をされましたか
A 院内WLB推進委員会・看護長会・看護部WLB委員会を三本柱として同じ目標に向かって取り組みました。
Q 昨年度よりワークショップに参加して、施設としてよかった点や変化した点を教えてください
A スタッフからの意見を聞き行動に移すことができました。また結果をフィードバックし可視化するという貴重なアドバイスを受けて実践したことが、皆の意識改革につながり成果に結びつきました。

2年目

今津病院

Q 組織全体で取り組むためにどのような工夫をされましたか
A 多職種参加でWLBを進めていくことを院長を含めて認知しました。アンケート結果や計画の発表会を２回実施しました。
Q ２年目のワークショップを終えて、新たに見えてきた課題があれば教えてください
A 中堅層に向けた計画を立てていましたが、当院の特徴である50～60代に目を向けてWLBの計画をあげました。また、当院の病院機能が地域に周知されていないため、地域に発信する方法など具体的計画が出来ました。

近江温泉病院

Q ２年目のワークショップを終えて、新たに見えてきた課題があれば教えてください
A WLBに取り組んでいることの周知がスタッフにできていないことがインデックス調査結果から判明しました。周知方法を検討し工夫して周知の努力をしたいと思います。
Q 昨年度よりワークショップに参加して、施設としてよかった点や変化した点を教えてください
A 推進員のアドバイスにより、当院の現状や問題点が見えてきました。

1年目

地域医療機構 滋賀病院

Q ワークショップに参加していかがでしたか？
A 現状のデータを把握し改めて組織の改革及び改善に向けて取り組む必要性を強く感じました。

南草津病院

Q ワークショップに参加していかがでしたか？
A 他病院の取り組み内容を理解し、当院の今後の方向性、課題をメンバーらと再確認する場となりました。

●写真提供：ナースセンター

滋賀県医療勤務環境改善支援センターをご存知ですか?

滋賀県医療勤務環境改善支援センターは、医療スタッフの離職防止や定着促進、医療安全の確保等を図るため、勤務環境改善に向けた取り組みを行う医療機関に対して総合的な支援をしています。
今後、当協会と連携を深め、医療勤務環境の改善に努めたいと思います。

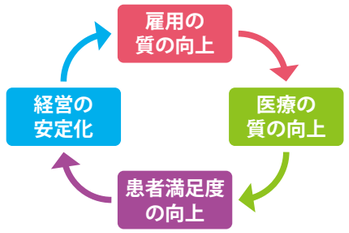
平成28年８月１日に滋賀県医療勤務環境改善支援センターを訪問し、お話を聞かせていただきました。【労働環境改善委員会】

医療機関

このような困ったことはありませんか？

- 働き方・休み方改善
- 職員の健康支援
- 働きやすい環境整備
- 働きがいの向上

など



相談　　勤務環境改善マネジメントシステム

滋賀県医療勤務環境改善支援センター

センター業務

- 医療機関の勤務環境にかかる実態把握
- 医療機関からの相談対応
- 研修会・フォーラム等の開催
- 情報収集・提供・広報啓発活動

など

医療機関からの相談受付

医療従事者の勤務環境改善に関する各種相談を受け付けています。（無料）
●受付時間：月曜日から金曜日までの平日、午前９時から午後５時まで
●受付場所：一般社団法人滋賀県病院協会内「滋賀県医療勤務環境改善支援センター」
専用電話 077-500-3106 ／ FAX（病院協会共用）077-525-5859
※詳しくは、滋賀県医療勤務環境改善支援センターのホームページをご覧ください。

委員会活動報告

助産師職能委員会

助産師職能委員長　吉岡 千晴

皆さんこんにちは！助産師職能委員会です。

会員の皆さん、滋賀県では年間何人くらいの赤ちゃんが産まれているかご存知ですか？

１％県と言われるとおり、13000人の赤ちゃんが出生しています。この出生数は県下の死亡数を上回っており、人口1000人あたりの自然増減率は0.6で、全国平均がマイナス1.9となる中、沖縄県に次ぎ愛知県と並んで高い水準となっています。さらに出生率も10年以上連続で全国平均を上回っています。

こういった数字からも、私たち助産師の役割は大きく、妊産婦さんや子育て世代の方々に専門性を活かしたケアが必要になってくると思われます。助産師＝Midwife：語源は「女性と共にいる、寄り添う」とあります。県内の女性の方々に寄り添っていけるような活動を目指していきます。

今年度も妊産婦（ゆりかご）タクシー運行のために協力しています。

研修報告

2016.11.2㈬

研修企画・運営：教育委員会

トピックス研修 レベルⅡ～Ⅳ

災害支援活動の体験から、これから私たちができること

～大災害に備えた三職能の連携、そして感染管理～ 研修会

講　　師●菅原えりさ 先生 /東京医療保健大学大学院
宇野千賀子 先生 /滋賀県立精神保健福祉センター 保健師
吉岡　千晴 先生 /高島市民病院 副看護部長 助産師職能委員長
津田　雪代 先生 /滋賀県立小児保健医療センター 看護師長
司会進行●三上　房枝 専務理事 /滋賀県看護協会

今回の研修は定員80名のところ、定員を超える応募があり、96名の参加となりました。

午前中は三職能の立場から、災害時医療における多職種連携の必要性についてお話いただきました。宇野先生からは、滋賀県の医療救護活動指針とご自身の支援を交えての保健師活動、吉岡先生からは、県内であったご自身の災害経験を通しての活動と母子支援活動、津田先生からは、ご自身が体験された熊本地震での災害支援ナースの活動と看護師としての役割についてお話していただきました。起こりうるかも知れない災害時に備えて、三職能の連携とネットワークづくりの重要性が理解でき、強いては、地域包括ケアのシステムの構築が必要であることを学びました。

午後からは、菅原先生より、「災害時の感染制御活動」について講義いただきました。病院で被災した時の感染制御の基礎から避難所での感染対策の必要性についてお話がありました。避難所では手指衛生・環境整備・感染兆候の把握・隔離体制の整備が大切であることを学ばせていただきました。支援団体に誰が指令を出すのかが問題となっており、これからの課題であるとの事でした。

最後にグループワークでは、疑問質問・明日からの仕事に生かすことを話し合い、講師の先生方と活発な意見交換が行なわれました。国や滋賀県の活動指針や各災害対策チームとの連携の大切さを知ることができました。

支援ナースで活躍した者、これから支援ナースを目指す者等様々な中、これからわたしたちにできることを各々が見い出せた研修でした。

（広報委員 吉田・古川）

訪問看護支援センターだより

看護小規模多機能型居宅介護って、な～に？

▶「看護小規模多機能型居宅介護」(略称「看多機」)は、利用者が可能な限り在宅生活ができるよう、利用者の選択に応じて、通所介護、利用者の自宅への訪問介護や看護師による訪問看護に加え、短期間の「宿泊」等を組み合わせることで、医療依存度の高い利用者も、住み慣れた地域で安心して療養生活をおくる事ができるよう支援するサービスです。

複合施設「済生会なでしこ草津」を開設しました!!

滋賀県済生会は、超高齢社会の到来に向けて夜間・早朝の計画的訪問看護や療養通所介護、更に地域密着型サービスとして定期巡回・随時対応型訪問介護看護（以後定期巡回）、小規模多機能型居宅介護に取り組んできました。しかし、今後平均在院日数の短縮や疾病構造の変化で、益々医療依存度の高い方が増えることが考えられます。

その一方で介護の担い手不足や単独世帯の増加等地域の問題が深刻化してくるという状況を見据え、最期まで安心して住み慣れた地域での生活を継続していただくために看護小規模多機能型居宅介護（以後看多機）の必要性に注目し、構想を深めてきました。

この度９月25日に、看多機、定期巡回、訪問看護、訪問介護からなる複合施設「済生会なでしこ草津」を草津市西渋川に開設しました。定期巡回は草津市で初めて、看多機は湖南地域で初めてですが、皆様のモデルとなるよう頑張っていきます。　（淡海荘 荘長 千代妙子）

医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.26

医療安全情報

『薬剤名の表示がない注射器に入った薬剤の誤投薬』

薬剤名の表示がない注射器に入った薬剤を投与したところ、意図した薬剤とは別の薬剤であった事例が報告されています。

看護師は、ビソルボン注の急速静注とヘパリンの持続静注の更新のため、トレイを持って部屋に行った。トレイには、薬剤名のラベルを貼ったビソルボン注の注射器とビソルボン注の投与前後に注入する生理食塩液20mℓの注射器、ラベルのないヘパリン１万単位＋生理食塩液（合計20mℓ）の注射器の計３本が入っていた。看護師は、ラベルのない注射器に生理食塩液が入っていると思い込み、ビソルボン注の投与前後に全量投与した。その後、別の看護師がトレイ内に生理食塩液が残っているのを発見し、誤ってヘパリン調製液を投与したことに気付いた。

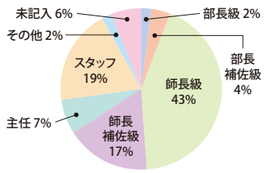
注射器には必ず薬剤名を表示し、投与直前に確認する。

（日本医療機能評価機構の医療安全情報11月より）

平成28年度医療安全管理者養成研修が修了しました。

受講期間：平成28年７月１日～10月31日 ／ 受講者数：48名

今年度から研修内容が充実され、49.5時間のｅラーニングによる受講と６時間の集合研修（RCA演習）となりました。医療安全管理者に限らず部署のリスクマネジャーや管理者等多数の方が受講され、集合研修も盛況に終了しました。



受講者の感想…

- パソコンやスマートフォンで学習が可能で、受講の途中で止めてもそこから開始できたので時間に合わせ受講しやすかった。（30歳代）
- 医療安全を考える中で、講義を聞いて医療安全の断片しか見えなかったものが、線で見えてきた。内容が濃いものであった。（40歳代）
- 資料をダウンロードできたので、講師の話を聞きながら資料内容を確認でき、何度も見直しできた。（50歳代）

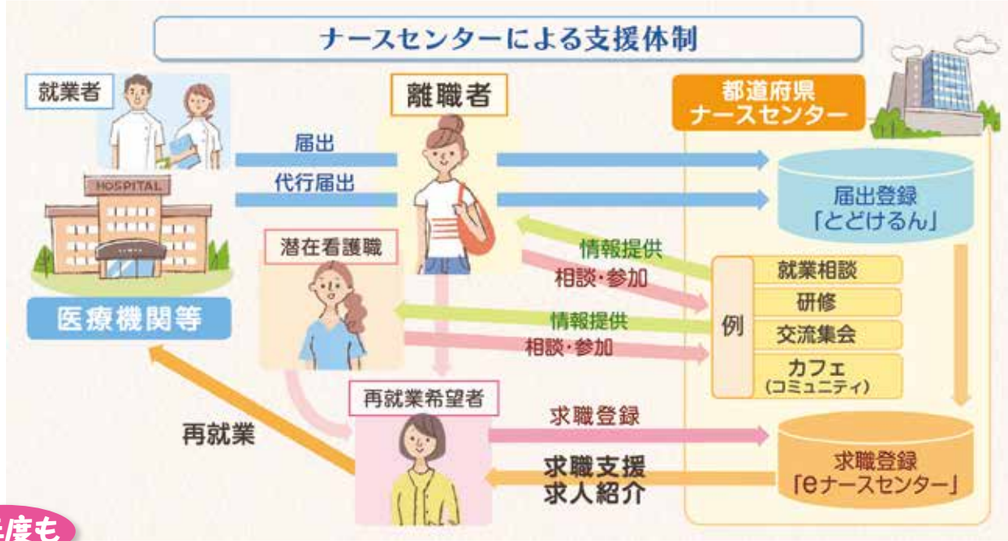
ナースセンターだより

看護師等届出制度が開始され１年が経過しました。届出者数は全国で32,294名。滋賀県は645名です。

離職された方はナースセンターに届出てください

スマートフォンやパソコンからインターネット上で「とどけるん」から届出を行うことができます。登録後ログインすると、全国のナースセンターの情報や復職等に関する届出者向けの情報コンテンツを利用していただくことができます。

「とどけるん」https://todokerun-nc.nurse-center.net/todokerun/



今年度も

「看護職就職フェア in しが」開催します!!

- 日程：平成29年２月15日（水）13:30 ～ 16:00（受付は15:30まで）
- 場所：クサツエストピアホテル　２階瑞祥の間
  （JR草津駅西口・徒歩５分）

入場無料
《予約不要》

ワンポイントメイク・ハンドマッサージコーナー、各相談コーナー
入退場自由、託児室あり（無料）、駐車場無料

未就業者対象

今年度
最終です!!

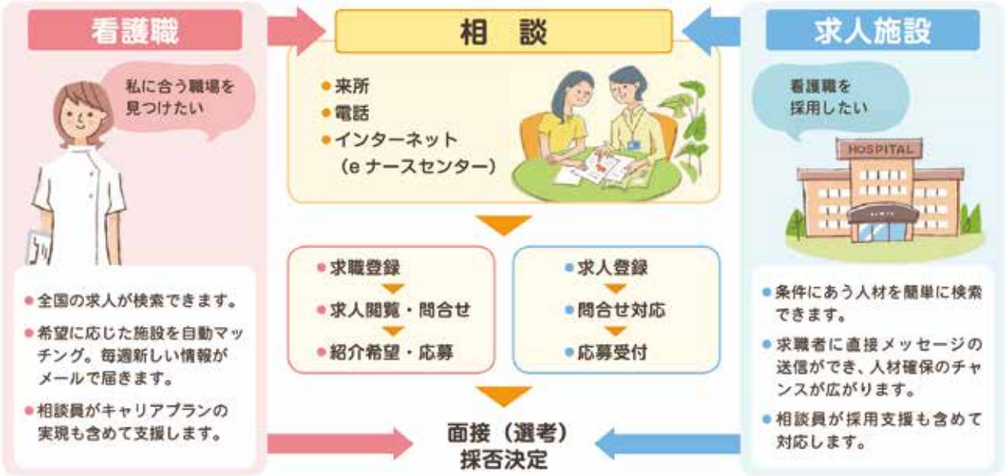
リスタートナース・サポート研修

- 日程：平成29年１月24日・27日・30日・31日、２月２日・３日
- 場所：滋賀県看護研修センター　※無料、託児補助あり　※駐車場なし

ナースセンターでお仕事探し・看護師探し

ナースセンターが運営する無料の求職・求人サイトです。ご登録いただくと、お仕事探しや人材探しが可能になるほか、就職相談会などのイベントの案内や看護に関する情報が無料で得られます。

「ｅナースセンター」https://www.nurse-center.net/nccs/



お問合せ　滋賀県ナースセンター Tel.077-564-9494 ／ 彦根サテライト Tel.0749-30-1235
E-mail: nurse-center@shiga-kango.jp　★詳細はホームページをご覧ください。【 http://shiga-kango.jp/ 】

SHIGA! はたさぽ通信

就業コーディネーター｜松波 典代

求人登録もよろしく！

『病院訪問に対応いただいた看護部長様に感謝!!』

皆様　あけまして、おめでとうございます。

よき新春を迎えられたこと謹んでお慶び申し上げます。新たな気持ちで、看護職の就業者増という目標に向かって、出張相談やリスタートナースサポート研修等、１つ１つ取り組んでいきます。今年も、皆様の変わらぬご指導ご協力をよろしくお願いします。

昨年11月より、県下の病院様を訪問し、人材確保や届出制度、精神サポート事業について、看護部長様に伺う機会をいただきました。病院毎の課題や対策、ご意見を伺い、ナースセンター事業の課題を見出し就業支援の促進を図りたいと思います。

看護部長様の熱意のこもった語りと温かい対応に感謝いたします。

『再就職についての意向調査結果（一部抜粋）』●調査発送数298件・回収数90件（回収率30.2%）女性77件・男性３件・未記入10件

今年度もｅナースセンター登録者を対象に調査をしました。以下は、回答数が多い順に記載。

☆**再就職する際の希望施設**…①病院／②診療所／③介護福祉施設／④市町／⑤訪問看護ステーション／⑥その他
☆**再就職する際の希望条件**…①勤務時間／②看護内容／③通勤時間／④給与
☆**再就職する際、就業先に希望する支援**…①看護業務を段階的に説明してくれる／②スタッフからの声かけ／③看護の知識や技術に関する研修がある／④保育所が設置されている／⑤その他

『リスタートナースサポート研修を受講し、復職された方々に応援のエールを送ります。』

今年度の研修修了者：31名・内就職者：17名（就職率55%）・他の方も就職活動中です。
★自分に合った職場探しは、**ナースセンターの無料職業紹介**をご利用ください。